

商売繁盛願い えびす祭



池田町中町のえびす神社で1月10日、恒例の「えびす祭り」が開かれ、今年1年の商売繁盛や家内安全を願う大勢の参拝客でにぎわいました。神社近くの販売所では、巫女の衣装を身にまとった福女が縁起物の飾りがついた福笹や熊手を販売し、買い求める人で長い行列ができていました。また、温かいぜんざいの振る舞いや買い物をした方を対象にした福引のほか、約1万個の福餅投げやちびっ子限定の餅投げも行われ、大人から子どもまで祭りを楽しんでいました。

100歳おめでとうございます



1月5日、大塚美代子さん（池田町州津）が100歳のお誕生日を迎えられました。大塚さんは、19歳で国鉄職員の夫と結婚し、小学校教員として働きながら3女を育てあげました。退職後は、夫と共に詩吟を楽しんだり、地域のボランティア活動に精を出されました。長生きの秘訣は好き嫌いなくなんでも食べることだそうです。この日は子どもや孫、ひ孫など約30人が集まりお祝い。大塚さんから感謝の気持ちを込めて詩吟や演歌が披露されました。これからも元気でお過ごしください。

伊予川芋炊き会に県知事表彰



「徳島県治水及び利水等流域における水管理条例」の取り組みの一環として、流域における水管理の推進に功績をたたえ12月19日、伊予川芋炊き実行委員会（並岡和久会長）に飯泉県知事から表彰状が手渡されました。同会は、平成11年の発足以来、年間を通して伊予川の清掃活動を続けており、伊予川でのラフティング体験や環境パネル展示会による環境保全の啓発、木炭埋設による水質浄化活動や河川清掃活動など多年にわたる環境保全活動や地域活性化に積極的に取り組んでいます。



西祖谷「フルカウンター」が3連覇 雪上の戦い制し全国へ

第14回雪合戦四国大会が1月27日から2日間、いやしの温泉郷グラウンドで行われ、県内外から計36チームが参加し熱戦を繰り広げました。大会は全国大会を目指す四国リーグのほか、中学生以上の「エンジョイ」と小学生の「ジュニア」リーグがあり熱戦を展開。徳島など瀬戸内沿岸を拠点とするアイドルグループ「STU48」のメンバーも訪れ、「ジュニア」リーグ優勝のイヤンキースジュニアとエキシビジョンマッチが行われました。4チームで争った四国リーグは西祖谷の「フルカウンター」が3連覇を達成。同チームは、長野県白馬村で3月3・4日に開催される日本雪合戦選手権大会に出場します。



おもしろいこと、珍しいもの、耳よりな情報など、どんなことでもいいのでお知らせください。
三好市役所 秘書人事課 ☎72-7646

池田ダムで薪の無料配布



池田ダムに流れ着いた流木を有効活用しようと1月27日、独立行政法人水資源機構池田総合管理所による薪の無料配布が行われました。今回用意された薪は、例年より少し多い15立方メートル。長さ1メートルほどに揃えられ、先着約60名の来場者の車に次々と積み込まれていきました。阿波市から来た大塚達也さんは「ホームページを見て初めて来た。薪ストーブに利用したい」と語ってくれました。4月には、流木を細かく砕き堆肥用に加工したチップの配布も予定されています。

スポ少駅伝で三野FCが優勝



駅伝を通じてチームワークや交流を深めてもらおうと1月27日、三好市スポーツ少年団駅伝競走大会が吉野川運動公園で開催されました。少年団から8チームが出場し、5区間6.4キロで懸命なたすきリレーが行われました。また、友好タイムトライアルも行われ、参加したスポーツ少年団員は、ゴールを目指し健脚を競い合いました。7回目を迎えた今回、男子の部では三野FCが優勝、池田ジュニアフットボールクラブAが準優勝し、選手たちは走ることの楽しさや駅伝の魅力を体感しました。

活躍した子どもたちに北條教育賞



三好郡市内で善行・努力を積み重ねている小・中・高等学校の児童・生徒に対して贈られる北條教育賞の授賞式が1月25日、三好教育センターで行われました。個人の部では、運動競技や研究、制作、表現活動などで卓越した成績を収めた12名と団体の部では、6団体が選ばれ賞状と楯が贈られました。個人の部で受賞した井内小学校4年の馬場榛貴さんは、「受賞できて本当に嬉しいです。今後は、いま習っているレスリング競技を頑張り、またこの賞を受賞したいです」と笑顔を見せていました。

地域の安全安心に向け 防災への決意新たに

三好市消防団出初式が1月14日、池田総合体育館で開催され市内54分団760人が参加しました。市長の式辞をはじめ、連合消防団長の訓示、各表彰授与などが行われ、式典後には消防団による一斉放水が行われました。また、諏訪公園（池田町ウエノ）において、池田町消防団第1分団が恒例の「たる回し」を披露しました。防水ずきんと法被に身を包んだ団員6人が3人ずつ二手に分かれて同時に放水すると、縄で縛った2つのたるが豪快に回り、見物客からは盛んな歓声と拍手が送られました。



介護食の知識を深めよう

在宅介護への知識を深めてもらおうと1月24日、ヘルスメイト三好主催のやさしい在宅介護食教室が三好市保健センターで開催されました。講師からは、咀嚼や嚥下機能が低下し、食べ物をうまく飲み込めない高齢者に対して、刻み食や嚥下食など食べやすくする工夫や食材別の調理のコツについて紹介。その後、調理実習も行われ、卵がゆや具を小さく刻んだ和風の麻婆豆腐、よくつぶしたカボチャサラダなど4品の料理を完成させました。参加者からは、「ちょっとした工夫で、飲み込みやすくおいしい料理になる。ぜひ家でも試してみたい」と感想が述べられました。